

高速自動車道路事故対応訓練



日 時 平成26年10月21日 (火)

9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0

場 所 松山市井門町804番地 松山インターチェンジ内

西日本高速道路株式会社 四国支社

愛媛高速道路事務所 庁舎西側空地

松 山 市 南 消 防 署

1. 目的

この訓練は、高速自動車道路上において、大型バス等を含めた多重衝突事故が発生、複数の傷病者を関係機関相互の連携により救出、救護し、被害の軽減を図ることを目的とする。

2. 日時

平成26年10月21日（火）9：30～11：00（小雨決行）

3. 場所

松山市井門町804番地 松山インターチェンジ内
西日本高速道路株式会社 四国支社 愛媛高速道路事務所 庁舎西側空地

4. 参加機関、車両台数及び予定人員

高速道路交通警察隊	1台	2名
NEXCO西日本	1台	2名
ジェイアール四国バス株式会社	1台	2名
愛媛大学医学部附属病院	1台	4名
株式会社中川自動車商会	1台	1名
松山城南高等学校	1台	20名
東温市消防本部	1台	3名
伊予消防署	1台	4名
松山市南消防署	6台	32名
計 9機関	14台	70名

5. 想定

午前9時30分頃、松山自動車道路（松山・川内IC間）において、下り車線を走行中の普通乗用車が運転操作を誤り、中央分離帯を乗り越え、上り車線を走行中の大型バスと正面衝突、その後方を走行していたマイクロバスが大型バスに追突する多重衝突事故が発生する。正面衝突した普通乗用車は、大破し車内に負傷者が閉じ込められる。大型バス内には多数の傷病者がおり、大型バスに追突したマイクロバスにも負傷者が発生する。

6. 訓練の重点目標

- (1) 交通規制、道路閉鎖等の初動体制の確立
- (2) バス等の大型車両の多重衝突事故発生時の救助救出対応の確立
- (3) 多数傷病者事故発生時の各機関との連携体制の確立

7. 訓練内容

- (1) 会場設営及び訓練車両は待機場所への移動を9時15分までに完了させ、訓練参加者は訓練前集合場所（管理棟西側）に集合する。
- (2) 待機車両に乗車後、訓練開始の合図で合同訓練を開始する。出動順は高速警察隊、交通管理隊、南消防署隊、東温市消防本部、伊予消防署、愛媛大学医学部附属病中川自動車商会の順番で出動する。
- (3) 中川自動車商会の事故車両搬送訓練をもって訓練終了とする。その他の車両及び資器材等はそのままで、講評の隊形に整列する。
- (4) 南消防署長講評及び
西日本高速道路株式会社 四国支社 愛媛高速道路事務所所長挨拶
- (5) 各機関の車両説明及び車両見学等を実施する。（訓練参加者・見学に来ている幼稚園児）
- (6) 解散

8. 注意事項

- (1) 訓練中は赤色灯の使用とサイレンの吹鳴。
- (2) 消防隊はホース延長し、実放水を実施する。
- (3) 救助隊は救助資器材をエンジン始動し、実際に訓練用乗用車の切断等を実施する。
- (4) インター料金所を通過した消防車両等は、訓練開始前に手続きをする。
- (5) 訓練中は事故防止に万全を期すること。

9. 訓練資料

- 資料1 付近見取図
- 資料2 活動図面
- 資料3 訓練時系列

以上